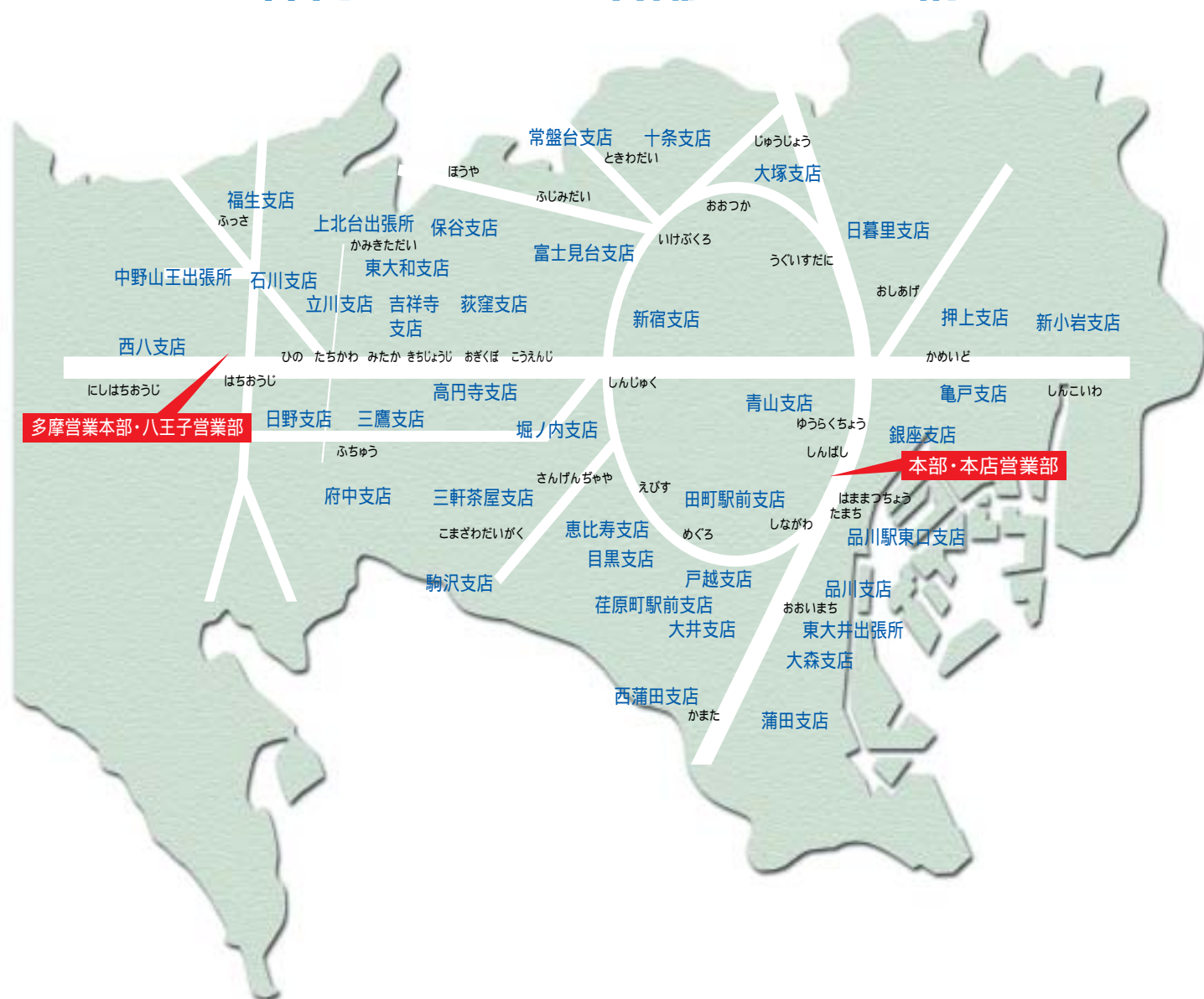


大信の近況ご報告

— 平成17年9月 —

都内にひろがる店舗・サービス網



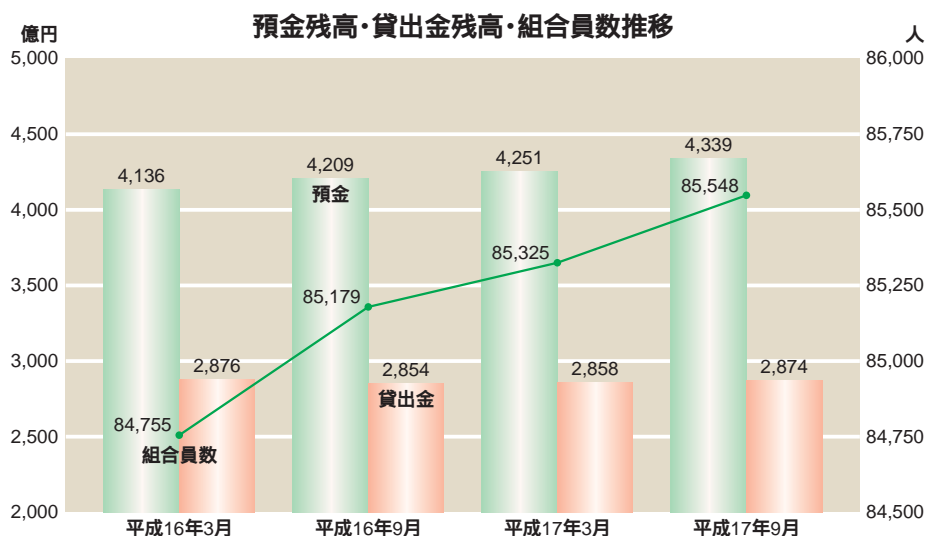
(本資料に掲載されている9月末の計数につきましては、仮決算のため監査法人の法定監査を受けたものではありません。)



ホームページアドレス (URL) <http://www.daisin.co.jp/>

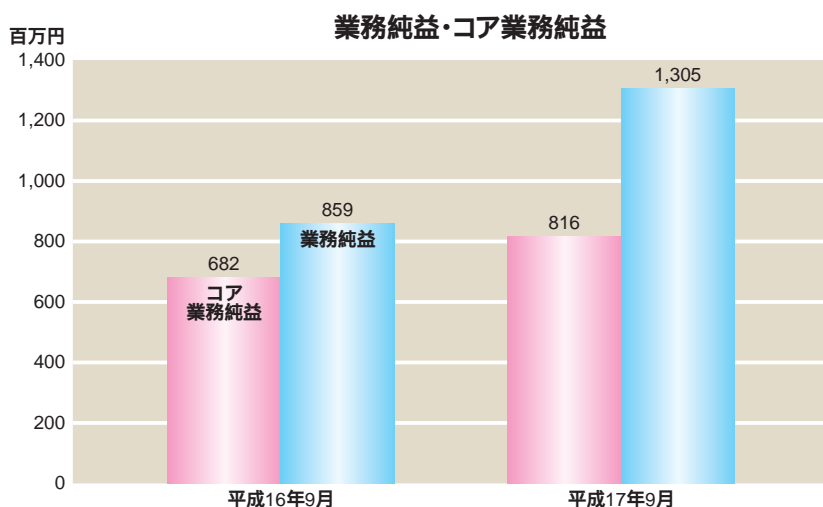
平成17年9月期の業績

預金・組合員数は順調に増加しました



業容は順調に伸展し、預金残高は前年同期比3.0%増加し4,339億円となりました。一方、貸出金残高は中小零細企業の資金需要が低迷する中、本業に特化した貸出金増強、とりわけ事業資金を積極的に推進しました結果、不良債権の処理を進めたにもかかわらず、前年同期比0.7%増加し2,874億円となりました。また、組合員数は前年同期比369名増加し、個人・法人総数で85,548名となり、普通出資金は前年同期比200百万円増加し、7,104百万円となりました。

業務純益は前年同期比51.8%増加し、13億5百万円を確保しました



収益は、前期に引き続き本業である預貸金業務に特化した事業展開による収益改善に取り組んだことと併せて経費の削減等経営の合理化に努めました結果、業務純益は前年同期比51.8%増加し、13億5百万円を確保することができました。また、本業による利益を示すコア業務純益も、前年同期比19.6%増加し、8億16百万円の増益となりました。



資産の健全化を図り、不良債権比率は7.26%に改善しました

(単位:百万円,%)

区 分	金融再生法で定められた債権の状況							
	平成17年3月末				平成17年9月末			
	債権額	保全額	保全率	構成比	債権額	保全額	保全率	構成比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11,504	11,504	100.00	4.0	11,490	11,490	100.00	4.0
危険債権	9,679	7,241	74.81	3.3	8,651	6,473	74.82	3.0
要管理債権	800	499	62.37	0.3	999	709	70.97	0.3
(小計)	21,985	19,246	87.54	7.6	21,140	18,672	88.32	7.3
正常債権	267,609			92.4	269,649			92.7
合計 (総与信)	289,594			100.0	290,790			100.0

不良債権比率は前年同期(16年9月8.45%)比1.19%改善されました。

(注1)単位未満を切捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中合計額とは一致しないことがあります。

(注2)総与信とは貸出金と貸出金以外の債権(貸付有価証券、外国為替、未収利息、仮払金および債務保証見返)を含んだ合計額です。

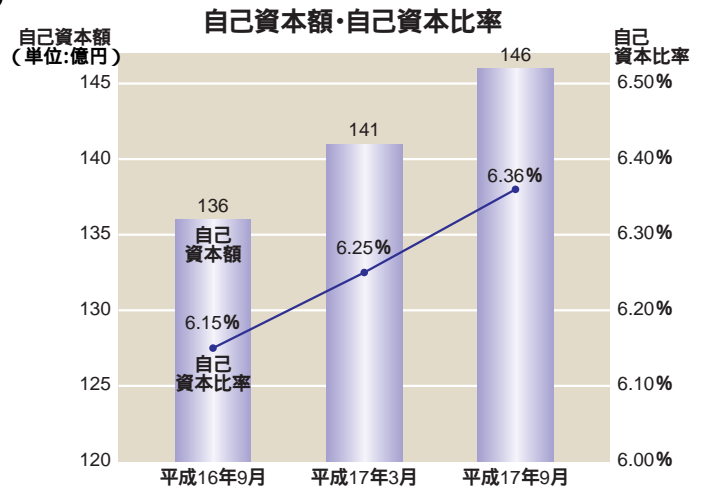
自己資本額順調に増加、自己資本比率6.36%に向上しました

(単位:百万円)

自己資本比率			
項目	平成16年9月末	平成17年3月末	平成17年9月末
自己資本比率	6.15%	6.25%	6.36%
自己資本額	13,683	14,148	14,643
基本的項目	11,532	12,031	12,614
補完的項目	2,151	2,116	2,029
控除項目	-	-	-
リスク・アセット	222,403	226,133	230,210

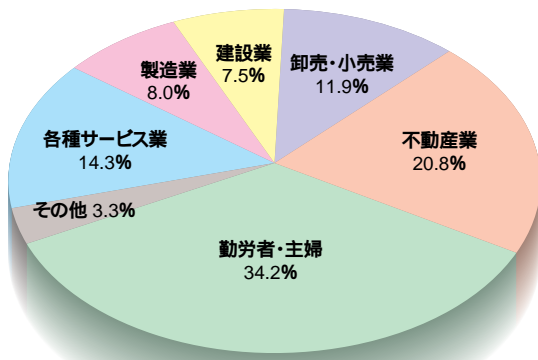
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}(14,643)}{\text{リスク・アセット}(230,210)} \times 100 = 6.36\%$$

(注1) リスク・アセットとは、資産の各項目にそれぞれのリスク・ウエイト(信用リスクの度合)を乗じて得た額の合計額です。



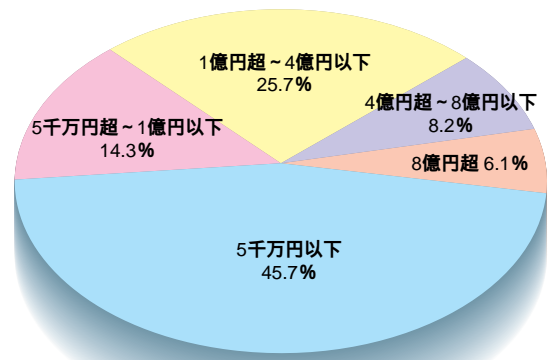
貸出は小口多数で各業種に分散されリスクに強い取引基盤を確立しています

貸出金業種別残高構成比



大信の貸出先は、特定の業種に偏ることなく、地元の中小企業や生活者の皆様に広く分散されており、大信は、地元でお預りした預金は地元へ還元することを基本姿勢として、地元の皆様の資金ニーズに積極的にお応えすることで地域の振興発展のためにお役に立つことを基本的な使命としております。

1先当り貸出金額段階別残高構成比



大信の1先当りの貸出金は1億円以下が60.0%(うち5千万円以下が45.7%)と小口の貸出が過半を占めており、リスク分散をはかりながら堅固な取引基盤を確立しております。特定先への貸出金の集中や法令違反となるような大口貸出は一切ありません。

安全性重視の有価証券運用で評価益を安定確保しています

(単位:千円)

有価証券の取得原価、時価、貸借対照表価額及び評価損益						
項目		取得原価	時 価	貸借対照表価額	評価損益	
有 価 証 券	売買目的有価証券	平成16年9月末	-	-	-	-
		平成17年3月末	-	-	-	-
		平成17年9月末	-	-	-	-
	満期保有目的の債券	平成16年9月末	7,538,384	7,634,847	7,538,384	96,462
		平成17年3月末	11,629,294	11,731,138	11,629,294	101,843
		平成17年9月末	15,708,566	15,684,698	15,708,566	23,868
	その他有価証券	平成16年9月末	22,000,616	22,458,388	22,458,388	457,771
		平成17年3月末	39,728,444	40,396,580	40,396,580	668,136
		平成17年9月末	18,871,217	19,472,324	19,472,324	601,107
	計	平成16年9月末	29,539,001	30,093,236	29,996,773	554,234
		平成17年3月末	51,357,739	52,127,719	52,025,875	769,980
		平成17年9月末	34,579,784	35,157,023	35,180,891	577,238

(注1) 「その他有価証券」の評価方法は時価法を採用しております。「その他有価証券」については、時価評価に換算した上で貸借対照表価額としておりますので、評価損益は取得原価と貸借対照表価額の差額を計上しております。

(注2) 本表に掲げる取得原価は、償却原価から減損処理額(該当額が発生した場合)を控除した後の残高を計上しております。

(注3) 平成17年9月末には売却益401百万円の計上があり、実質的な評価額は前年より拡大しております。

平成17年9月期 仮決算状況

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部				負債及び組員勘定の部			
科 目	平成17年9月	平成16年9月	平成17年3月	科 目	平成17年9月	平成16年9月	平成17年3月
現金	7,048,630	6,917,692	7,809,993	預金積金	433,911,913	420,952,197	425,160,129
預け金	113,480,617	111,456,957	87,939,086	借入金	1,540,000	1,540,000	1,540,000
有価証券	35,180,891	29,996,773	52,025,875	其他負債	1,359,049	1,331,842	1,564,622
貸出金	287,492,361	285,446,611	285,850,337	退職給付引当金	1,131,262	1,002,112	1,096,735
其他資産	2,531,581	2,456,848	2,395,011	役員退職慰労引当金	258,675	220,141	241,411
動産不動産	12,388,370	9,181,162	12,489,560	再評価に係る繰延税金負債	160,664	160,664	160,664
繰延税金資産	1,925,364	2,355,588	2,172,636	債務保証	3,022,217	3,651,361	3,465,439
債務保証見返	3,022,217	3,651,361	3,465,439	負債計	441,383,782	428,858,319	433,229,003
貸倒引当金	8,126,737	10,203,388	7,913,593	組員勘定	13,559,515	12,401,286	13,005,345
(うち個別貸倒引当金)	(7,868,425)	(9,823,152)	(7,567,708)	うち普通出資金	7,104,631	6,904,144	6,920,531
				うち優先出資金	1,050,000	1,050,000	1,050,000
				うち資本剰余金	1,050,000	1,050,000	1,050,000
				うち利益剰余金	3,589,507	2,730,222	3,173,394
				(当期純利益)	(578,519)	(361,731)	(804,903)
合計	454,943,298	441,259,606	446,234,348	合計	454,943,298	441,259,606	446,234,348

損益計算書

(単位:千円)

科 目	平成17年9月	平成16年9月	平成17年3月	科 目	平成17年9月	平成16年9月	平成17年3月
経常収益	5,393,876	5,254,518	10,365,796	特別利益	55,467	5,342	155,838
資金運用収益	4,735,019	4,776,177	9,508,387	特別損失	9,247	41,941	111,171
貸出金利息	4,312,680	4,491,565	8,976,598	税引前当期純利益	856,778	532,389	1,102,648
預け金利息	239,580	122,176	277,543	法人税・住民税及び事業税	10,000	10,000	20,000
有価証券利息配当金	115,999	96,875	188,684	法人税等調整額	268,259	160,658	277,745
その他の受入利息	66,760	65,560	65,560	当期純利益	578,519	361,731	804,903
役務取引等収益	228,835	226,213	460,537	前期繰越金等	387,988	418,491	418,491
其他業務収益	411,292	232,908	341,633	当期末処分剰余金	966,507	780,222	1,223,394
国債等債券売却益	401,582	224,027	281,674				
国債等債券償還益	82	316	406				
その他の業務収益	9,628	8,564	59,552				
其他経常収益	18,729	19,217	55,237				
経常費用	4,583,318	4,685,529	9,307,813				
資金調達費用	234,303	219,169	451,440				
預金積金利息	218,421	203,264	419,717				
借入金利息その他	15,882	15,905	31,722				
役務取引等費用	189,031	194,814	387,731				
其他業務費用	87,140	47,331	31,032				
経費	3,733,320	3,914,372	8,152,339				
其他経常費用	513,802	309,841	285,270				
経常利益	810,558	568,988	1,057,982				

(注1)9月は仮決算速報の処理としております。(注2)固定資産の減損会計に伴う減損損失の計上は18年3月期からとなります。(注3)記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

地域密着型金融推進計画

地域密着型金融推進計画の策定について

平成17年3月までの「リレーションシップバンキングの機能強化計画」に引き続き、当組合といたしましては、間柄重視の地域密着型金融の担い手として、地域経済の活性化や中小企業金融の円滑化に向けて、その機能強化を更に推進していくことが各種リスクの極小化につながるとの認識のもと本計画を策定いたしました。

推進計画の主な内容

推進計画に対する基本的考え方

大信は、地域社会・取引先との共存共栄により、地元に着した存在意義のある信用組合を標榜します。そのために自己資本の一層の充実と健全な財務体質の構築により、対外競争力の強化と対外信用力の向上を図ってまいります。

それを実現していく上で重要なことは、収益力の強化、経営管理力ならびに組織力の向上であります。そのためにも、これまで以上に本業に特化することにより貸出金の増強による地域経済の発展への貢献に努める一方、リスク管理の向上やコンプライアンスの徹底を図ると共に、組織を支える源である人材の育成に取組み営業力を強化して地域のお客様への良質な金融サービスの提供を目指してまいります。

推進計画の実施期間

平成17年4月1日～平成19年3月31日

具体的取組方針

(1) 事業再生・中小企業金融の円滑化

前回に引き続き事業再生に積極的に取組むものとし、創業・新規事業支援に関しては、かなりのスキルアップが求められることから、各地域における外部機関との連携を強化し、取組みを推進いたします。そのため各分野の専門家による研修を行い、キャッシュフローを重視した担保・保証に過度に依存しない融資に取組み、また、モニタリング機能を強化し、融資審査能力の向上を図ると共に、地元の皆様に対して事業再生、起業、事業展開に対する情報の提供を専門家とのネットワークを強化した上でタイムリーに企画し実現してまいります。

(2) 経営力の強化

収益力の強化のために、現在の最重要課題として貸出金の増加と貸出金利の適正化に取り組んでおりますが、それには、リスク管理態勢の充実、コストマネジメントが不可欠であり、信用格付の整備をはじめ各種リスクの計量化を図り、経営管理力のレベルアップに取り組めます。また、CS・ESを通じてお客様からの信頼を向上させていく上で、コンプライアンスの徹底や顧客情報管理態勢の強化に向けて取組めます。

(3) 地域の利用者の利便性向上

利用者の満足度を重視した金融機関経営を確保するため、ホームページ等の充実を図ります。具体的には、利用者のニーズを把握するために顧客満足度調査等を実施し、お客様より寄せられたご意見あるいは苦情等については、その頻度の高いものに対する組合の対応を回答事例として公表します。お客様への説明態勢の状況、事業再生の取組結果、地域貢献の状況については、地域の利用者に対する開示方法や情報提供の充実を図り、利用者の方々が理解できる仕組みの確立に向け推進します。

数値目標

年度	項目	自己資本比率	業務純益	不良債権比率	組合員数
17年度		6.4%	20億8千万円	6.3%	85,800人
18年度		6.6%	21億56百万円	6%未満	86,300人

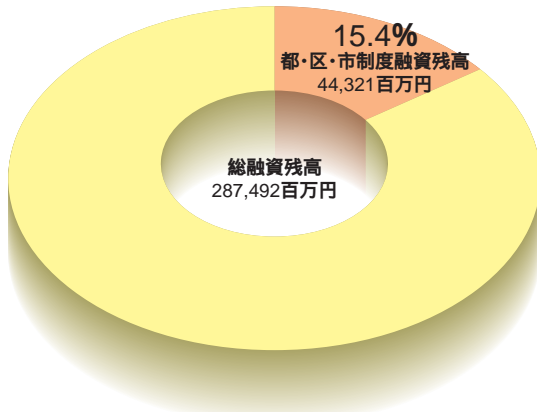
詳細は当組合のホームページ「地域密着型金融推進計画」をご覧ください。

大信の地域貢献活動&トピックス

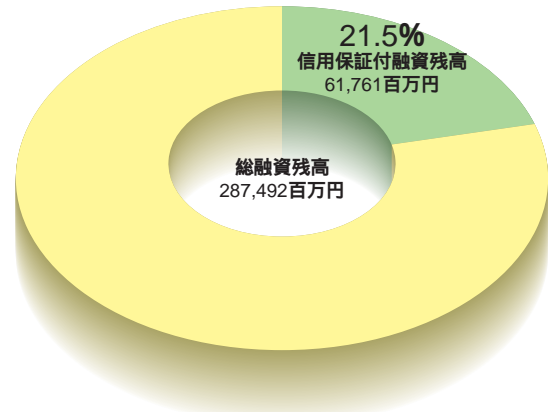
制度融資や信用保証付融資を通じた地元中小企業への支援と地域活性化に貢献

大信は地域のお取引先の資金ニーズにお応えするため、都・区・市の中小企業向け制度融資と東京信用保証協会の保証付融資を積極的に取り組んでおります。平成17年9月末現在の都・区・市制度融資残高は44,321百万円で、総融資残高287,492百万円に占める割合は15.4%となっています。また、信用保証付融資残高は61,761百万円で総融資残高に占める割合は21.5%に達しており、都内信用組合のトップの実績を誇っています。

都・区・市制度融資残高割合



信用保証付融資残高割合



(財)あすなる会に対し43年間にわたり賛助活動を継続

大信は、昭和37年に大信創立10周年の記念事業として、「勤労青少年の育成と社会福祉向上」を目的に財団法人あすなる会を設立しました。以来大信は社会・地域貢献活動の重要な柱と位置づけ、(財)あすなる会の活動に対して基金・賛助会費、寄付金などを拠出、会事務所の提供、職員の派遣など、物心両面にわたり43年間支援を継続しております。

(財)あすなる会の活動は、英会話教室、茶道教室等の教養教室の他、ハイキング、祝成人・新年のつどい、あすなる祭等のイベント、さらに賛助会員の方々を対象とした中小企業経営環境研究会、大信と共催の合同時局講演会等多岐にわたり活発に行われております。これらの活動基盤は大信と大信39店舗のお取引先1,000社を超える賛助会員のご協力によって支えられております。

平成17年5月29日
山中湖ロードレース大会に参加の会員



平成17年6月5日
千葉袖ヶ浦東京ドイツ村を散策する会員



平成17年9月4日
あすなる祭にて来賓役員と会員との記念撮影



平成17年9月18日
(社)日動協主催「若ものつどい'05」作品展で会員2名が受賞し記念撮影



平成17年7月12日~13日
賛助会員を対象とした「第75回中小企業経営環境研究会」(箱根湯本)



ご講演の松原 聡先生



ご講演の佐高 信先生

都内中小企業景況調査を年2回実施し経営情報を提供

大信は、各店舗のお取引先のご協力を得て毎年5月と11月の2回都内中小企業の景況調査を実施し、その結果を小冊子にまとめ経営参考資料として提供しております。調査対象先は従業員50人未満の企業を中心に、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種707社に達し、大信職員による聞き取り方式で実施しております。平成17年5月で第48回を数え、平成15年5月の第44回景況調査からは都内23区と多摩地区に分けて地域性を反映した調査を行っております。



講演会等の開催により積極的にお取引先との紐帯強化

「しん研」実務セミナー

「経営力を強化するための会計」を開催

多摩地域の事業経営者を中心として活発な活動を続けている「だいしん経営研究会(略称しん研)」は、平成17年4月20日(水)八王子営業部大ホールにおいて第4回講演会を開催しました。今回は独立行政法人「中小企業基盤整備機構」の協力を得まして、同機構の専任教授西野光則先生をお迎えし、「経営力を強化するための会計」と題するご講義をいただきました。先生の実践的で活用できる解り易い説明は会員の皆様に大変好評でした。



ご講義をされる西野光則先生

第22回大信すえひろ観劇会

田村正和主演「新・乾いて候」が大好評

平成17年7月21日第22回大信すえひろ観劇会が新橋演舞場(昼の部)を借り切って、田村正和主演「新・乾いて候 そなたもおなじ野の花か」を1,400名のお客様のご参加をいただき開催されました。田村正和の魅力と素晴らしい演技にご参加の皆様から大変ご好評をいただきました。また、当日はお楽しみ抽選会も行われ、当選者には素敵な記念品がプレゼントされました。大信すえひろ会は、年金の受取口座を大信にご指定いただいているお客様の会です。



満員の会場模様(新橋演舞場)

大塚支店が移転しました!

昭和39年開店以来41年間、JR大塚駅前の大信としてご愛顧いただきました大塚支店は、7月19日(火)、駅前から北に向かう折戸通り商店街中ほどの新店舗に移転開店いたしました。おかげ様で開店記念の感謝デーには、猛暑のなか地元商店街・町会の皆様をはじめ約1,000名のお客様のご来店をいただき、温かいご支援を賜りまして新生大塚支店がスタートいたしました。今後、より一層地域のお客様に愛され、お役に立つ大塚支店との評価がいただけるよう職員一同心新たに努力してまいります。



テープカット

各店舗は地元に着した「心・ふれあい」の地域貢献活動を積極的に展開

目黒支店

目黒区社会福祉協議会の地域福祉活動に協賛し、使用切手・カード類の収集箱を窓口を設置してボランティア事業に協力しております。



富士見台支店

平成17年9月10日第8回富士見台本町通り「花笠踊り」が開催され、全職員が参加し軽快な音楽に合わせ商店街を練り歩きました。



品川支店

毎週朝3回(月・水・金)に当店前道路(旧東海道)、裏通り(元なぎさ通り)他周辺の清掃活動を融資渉外課職員が行っております。



高円寺支店

昭和43年以来毎年8月地元氷川神社例大祭に支店長以下男子職員が高円寺南中央町会の一員として神輿担ぎに参加しております。



亀戸支店

平成17年7月14日支店会議室においてお取引先の組織「亀友会」が80名の参加を得て講演会を開催しました。



保谷支店

毎年7月地元商店街「商愛会」主催の愛染稲荷神社例大祭に職員全員が参加し、山車・神輿の運行等をお手伝いしております。



常盤台支店

平成17年7月8日中小企業経営者の会「大信ときわ会」主催の第10回特別講演会が会員50名の参加を得て開催されました。



大森支店

平成17年8月4日地元大森町商店街主催のサマーフェスティバルが開催され町挙げての様々なイベントに全職員が参加しました。



押上支店

平成17年9月17・18日に地元町会主催の祭礼に模擬店の手伝いや神輿の担ぎ手として支店長以下男子職員が参加しました。



荏原町駅前支店

平成16年6月7日第42回「荏原ダイアズクラブ」(年金友の会)誕生祝賀会が90名の参加を得て盛大に開催されました。



府中支店

平成17年5月3日～5日にかけて例大祭「くらやみ祭り」が開催され、当店は道清めの儀を担当し、金棒の大役を無事努めました。



戸越支店

年間を通じて地元のお客様に支店ロビーの掲示板を開放し、絵手紙や写真など趣味やサークルの作品展を開催しております。



盗難・偽造キャッシュカードや 銀行名を騙り送付されてくるCD-ROM等にご注意を!

最近盗難・偽造キャッシュカードにより預金が引き出される事件が全国で多発しています。

特に生年月日・電話番号や車の登録番号等の暗証番号はもっとも危険です。

暗証番号はお客様がATMで簡単に変更できます。

また、金融機関名を騙り送付されてくるCD-ROM等でご不審な点は、下記のインターネットモバイルバンキング専用電話にお問い合わせください。

☎03-3436-7373(受付時間/9:00~17:30)